

10GIGE 高速撮像シリーズ



通信規格 **10GIGE**

【通信速度 1250MB/秒】

解像度

(~48Mpix)



0 10 20 30 40 50

撮像速度

(~338FPS)



0 100 200 300 400

高速GIGEによる 最適なパフォーマンスを

主な特徴

- **CameraLink**の置き換えに最適な性能
- パッケージ型提案による、サポートの充実
- 次世代**GigE**規格を通じた、拡張性と安定性



世界で初めて
製品化された
10GigE
カメラ

本カメラの特徴



次世代のGigE規格を搭載

10GigEは、ギガビットイーサネットの後継規格です。「通信会社」や「データセンター」でも実績がある、高速通信と安定性が両立できる規格であり、既に**400GigE**までの規格が制定されています。



ワンストップ提供

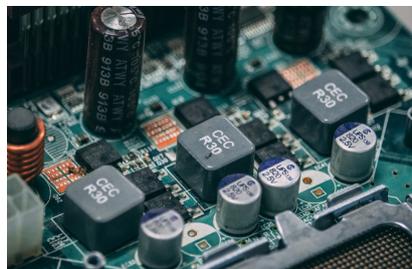
EVT社では、アクセサリも含めた、パッケージ型のラインアップを展開しています。無償の**SDK**、専用の**NIC**カードをご用意できる為、パフォーマンスの安定化と高品質化が実現できます。

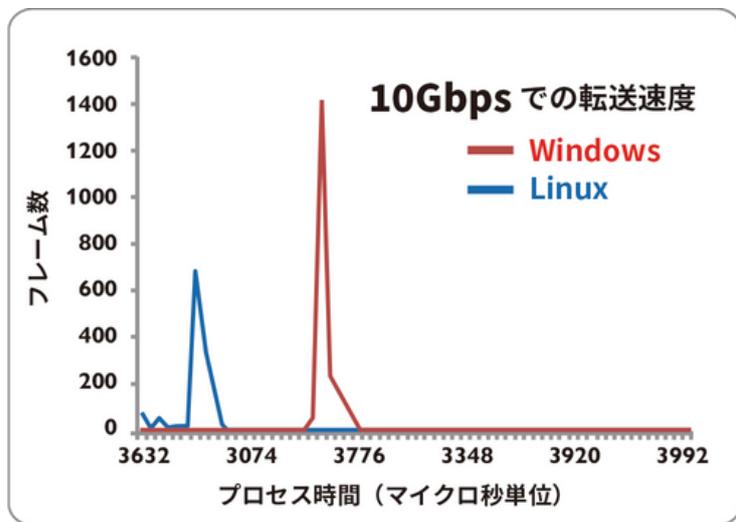
 CentOS  ubuntu  Red Hat



独自の専用ソフトウェア

独自のソフトウェアと専用**NIC**カードを組み合わせ、**CPU**負荷を最大限に抑えることが可能です。高帯域**GigE**の撮像性能を安定化できる為、ハイスピードカメラで独自の立ち位置を確立します。





テスト環境について

解像度：2044 X 1088 / ビット深度：8BIT
 帯域幅：10ギガビット/秒
 撮像枚数：2枚 X 3000回

DATA TRANSFER

「ケーブル距離」の克服

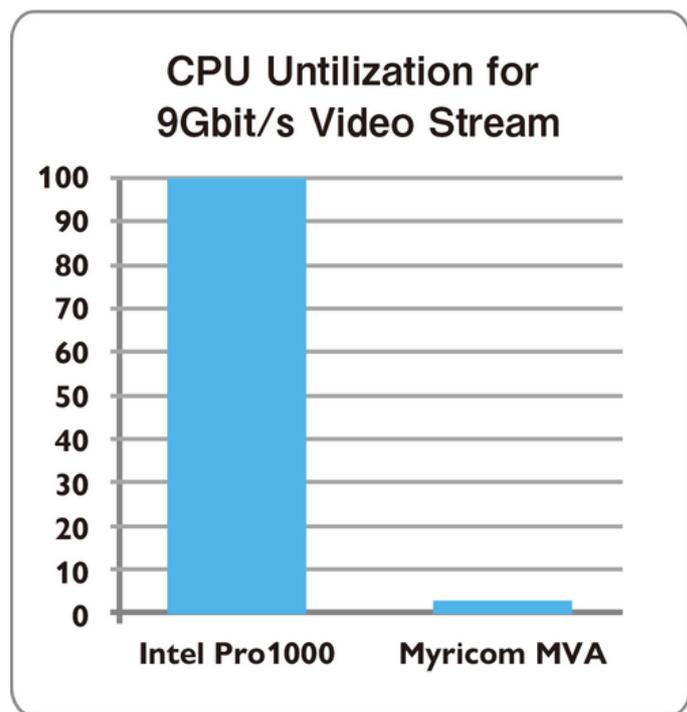
- 低ジッターと低遅延性を実現
- DMAに対応した仕様で、ハイエンドの高速処理を最適化

WINDOWS上での

通信パフォーマンス

- 平均遅延：157 μ 秒
- ジッター：±30 μ 秒

※レイテンシーの理論値：3595 μ 秒



LOW CPU-LOAD

「CPU負荷」の克服

- 専用ソフトとNICカードにより実現
- 通信規格の転送負荷を軽減し、CPU負荷5%以下を実現

専用NICカードとのCPU負荷の比較

- INTEL PRO1000：100%
- MYRICOM（専用NIC）：2%以下

テスト環境について

帯域幅：9ギガビット/秒
 プロセッサ：デュアルコアCPU

※Intel製Nicカードでの負荷は、450Mbit/秒の数値から類推しております。

10GIGEシリーズの紹介

10GigEカメラのメリット

- ・長距離通信の安定性：1m ~ 10km
- ・マイクロ秒単位の同期性：IEEE1588 PTP
- ・規格の発展性：100GigE ~
- ・ハイスピード仕様：10ギガビット/秒

カメラシリーズ

HR SERIES

ノイズが乗りにくい光ファイバを採用した、高速撮像カメラ。撮像イメージを安定して取得出来る仕様の為、高帯域GIGEカメラを試すのにお勧めです。

SONY CMOSIS

発展性に富む 光ファイバ



SFP+ シングル・モード



10 km

ご評価用に DAC (銅)



SFP+ ダイレクトアタッチケーブル (銅)



10 m

HT SERIES

これまで使い慣れたRJ45ポートを採用した、高速撮像カメラ。第2世代のポート仕様を採用しており、電力消費やCPU負荷の低減に貢献します。

SONY CMOSIS

安心感のある CAT6A



RJ45 光コンバータ エクステンダー不要



100 m